

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護援助論Ⅲ	NSP23_004	必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
吉岡 睦世 他	412	m.yoshioka	授業終了時、授業日 16:20~18:00		
授業の目的・概要	病状が進行し、身体的、生理的に不可逆的な健康状態を有する人は、QOL(生活の質)の維持を自らの力だけでは行うことが不可能となる。看護においては、その人の抱えている全人的苦痛を知り、受け止め、最期までその人らしい生活を送るための援助が重要となる。講義においては、病状の進行と共に、不可逆的な状態にある人の理解と苦痛緩和への支援さらにはエンドオブライフケアについて学ぶ。また、エンドオブライフケアが必要となる病いについて学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	成人看護援助論Ⅰ・Ⅱの学習を基に、不可逆的な健康状態を有する人の看護を考える。				
教科書	看護学テキストNiCEエンドオブライフケア/編著:谷本真理子他/南江堂/2022				
参考書	① 系統看護学講座別巻 緩和ケア第3版 /編著:恒藤暁、田村恵子 他 /医学書院 /2020 ② 系統看護学講座別巻 がん看護学第3版 /著:小松浩子 他 /医学書院 /2022				
外部教材	授業中に提示する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	エンドオブライフケアの歴史/制度が説明できる。		HSU(1),NS(1)(2)		
②	エンドオブライフケアにおける倫理的課題が説明できる。		HSU(1),NS(1)(2)		
③	エンドオブライフケアにおける看護の機能、役割が説明できる。		HSU(1)(3),NS(1)~(4)		
④	エンドオブライフケアにつながるがん看護について説明できる。		HSU(1),NS(1)~(4)		
⑤	エンドオブライフケアにおける退院支援・地域連携が説明できる。		HSU(1)(4),NS(2)~(4)		
授業計画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション エンドオブライフケアの概論	講義	教科書 p1-26 の内容を確認し講義に臨む。	1	
2	エンドオブライフを生きる人々と寄りそう人々それぞれの思いを知る	演習	演習で用いた内容について自分の考えを整理する。	1	
3	オリエンテーション エンドオブライフケアの概論、歴史/制度	講義	教科書 p27-45 の内容を確認し講義に臨む。	1	
4	エンドオブライフケアの定義・概念	講義	教科書 p53-65 の内容を確認し講義に臨む。	1	
5	エンドオブライフケアの症状マネジメント、痛みへの看護	講義	教科書 p91-100 の内容を確認し講義に臨む。	1	
6	エンドオブライフケアにおける事例への看護を考える①	GW・ディスカッション	演習で用いた事例について再度教科書で確認する。	1	
7	エンドオブライフケアが必要となる病い:慢性病をもつ対象者の看護日常生活支援	講義	教科書 p100-106 の内容を確認し講義に臨む。	1	
8	エンドオブライフケアにおける事例への看護を考える②	GW・ディスカッション	演習で用いた事例について再度教科書で確認する。	1	
9	最期までより良く生きることを支えるエンドオブライフケアについてチームアプローチと意思決定支援	講義	教科書 p67-90 の内容を確認し講義に臨む。	1	
10	エンドオブライフケアにおける事例への看護を考える③	GW・ディスカッション	演習で用いた事例について再度教科書で確認する。	1	
11	エンドオブライフケアが必要となる病い:臨死期の看護および支援	講義	教科書 p107-149 の内容を確認し講義に臨む。	1	
12	エンドオブライフケアにおける倫理的課題	ディスカッション・プレゼンテーション	演習で用いた内容について自分の考えを整理する。	1	
13	エンドオブライフケアにおける看護援助技術①	演習	事前課題: 演習で行う援助技術課題に取り組む	1	

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人看護学】

14	エンドオブライフケアにおける看護援助技術②	演習	事前課題: 演習で行う援助技術課題に取り組む	1					
15	まとめ	講義・演習	事前課題: すべての授業資料の復習をする。	1					
試									
達成度評価									
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		60	20	2	8	10	100		
総合力指標	知識・技術力	40	5	0	2	0	47		
	思考・推論・創造する力	10	10	0	2	2	24		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	3	3		
	発表・表現伝達する力	0	0	2	0	0	2		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5		
	問題を発見・解決する力	10	5	0	4	0	19		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	試験で学んだ知識について、60%評価する。				試験後に振り返りを行う。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
レポート	①	✓	事後課題により、授業内容の理解および学生自身の考え方が明確に表現されているかを20%評価する。				提出後総評をコメントする。		
	②	✓	事後課題: 授業で学んだことを基に、自己のエンドオブライフケアについての考えを述べる。						
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
成果発表	①	✓	倫理的課題についてグループワークで課題に取り組み発表する(2%)。				授業中にフィードバックする。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
ポートフォリオ	①	✓	事例への看護を考える①~③の演習で話し合った内容の提出物、およびエンドオブライフケアにおける看護援助技術①②の事前課題を各2%計8%とする。				提出物の内容について確認し総評をコメントする。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
その他	①	✓	授業に臨む姿勢について、10%で評価する。				授業中にフィードバックする。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
備考									
他担当教員	佐野宏一朗								
教員の実務経験	科目責任者は看護師として10年以上の臨床経験を有する。								
実践的授業の内容	実務経験のある教員の指導のもと、終末期看護について理解を深める。教員の経験から終末期看護の事例を取り上げ、教科書の内容をさらに深めながら学習する。								
その他	・授業中の私語は禁止します。また、指示がある場合を除いた携帯電話、スマートフォン等電子機器類の使用は禁止します。これら受講態度に問題があり、注意をしても改善が見られない場合は、退室してもらいます。								